

年度		2025	開講学期	通年	単位数	2	時間割コード	S903
授業科目名		社会体験学習（2単位）			担当教員名	理工学部インターンシップ ^o 実施委員会		
授業科目名：英語		Internships						
重複科目名		社会体験学習（1単位）【S902】（【時間割コード】）						
セット科目名								
開講情報			曜日	時限	時間割コード		【凡例】 ●：当該科目 □：同時に履修すべき 科目（セット科目）	
		● 1			S903			
主な対象学生		理工学部 3						
科目の情報		科目の種別	専門教育科目		科目番号			
主な使用言語		Japanese						
履修上の条件		・履修申請時点で70単位以上取得していること。 ・災害傷害保険及び損害賠償保険に加入すること。 ・集中（主に夏期休暇期間）						
担当教員情報	氏名（カナ）	理工学部インターンシップ ^o 実施委員会（ナシ）						
	担当教員名（英語）							
	常勤・非常勤	常勤						
	所属							
	研究室							
	公式サイト	researchmap：						
	個人サイト							
	質問・相談方法	各コースインターンシップ実施委員のオフィスアワーに準ずる。						
他の担当教員								
キーワード		インターンシップ、就業体験						
学位授与方針との関係		理工学部 化学・生命理工学科 化学コース						
		【技能・表現】	実験や調査結果を論理的に表現する文章作成能力を有し、国際的に通用するプレゼンテーション能力を身につけている。					30%
		【関心・意欲・態度】	地域における課題、化学に関する研究動向に関心を持っている。					30%
		【関心・意欲・態度】	化学に関する知識や技能を活かして、社会に貢献する意欲と態度を持っている。					40%
		理工学部 化学・生命理工学科 生命コース						
		【思考・判断】	多様な社会性や地域性を考慮しつつ、生命理工学の見地から健康や福祉等の諸問題解決のための論理的な判断や提案ができる。					50%
		【関心・意欲・態度】	生命理工学に関する知識や技能を活かして、社会に貢献する意欲と態度を持っている。					50%
		理工学部 物理・材料理工学科 数理・物理コース						
		【思考・判断】	数理科学および物理学の観点から諸問題を分析し、問題解決のための論理的な判断や提案ができる。					40%
		【技能・表現】	教育者、研究者あるいは技術者として必要な基本的な実験や演習、計算の技能を有するとともに、自らの考えを論理的に説明できる。					30%
		【態度】	社会における科学技術の役割を理解し、高い倫理性を持って、獲得した知識や技術を地域や国際社会の様々な問題解決に積極的に生かそうとすることができる。					30%
		理工学部 物理・材料理工学科 マテリアルコース						
		【思考・判断】	マテリアル工学および材料科学の観点から諸問題を分析し、問題解決のための論理的な判断や提案ができる。					40%
		【技能・表現】	教育者、研究者あるいは技術者として必要な基本的な実験や計算の技能を有するとともに、自らの考えを論理的に説明できる。					30%
		【態度】	社会におけるマテリアル工学および材料科学の役割を理解し、高い倫理性を持って、獲得した知識や技術をエネルギーや地球環境などの問題解決に積極的に生かそうとすることができる。					30%
		理工学部 システム創成工学科 電気電子通信コース						
		【知識・理解】	幅広い教養を備え、電気電子通信工学に関する基本的な原理、法則、理論を理解している。					10%
		【思考・判断】	専門知識を実際の課題に結びつけて柔軟な思考ができ、創造的に応用することができる。					10%
		【技能・表現】	電気・電子・通信に関する機器の動作原理を理解し、活用することができる。					10%
		【技能・表現】	他人と議論や協力ができる論理的なコミュニケーション能力・語学力を身につけている。					10%
		【関心・意欲】	科学技術の進展に高い関心を持ち、継続的・主体的に学習することができる。					50%
		【態度】	社会における役割を理解し、環境や安全に対する倫理観を身につけている。					10%

学位授与方針との関係	理工学部 システム創成工学科 知能・メディア情報コース		
	【思考・判断】	問題の本質を理解し、基礎的な課題に対して解決法を考える能力、および問題解決のための具体的な計画立案・遂行能力を身につけている。	20%
	【思考・判断】	専門分野等の知識を活用してデータを分析することができ、論理的な評価や考察を行える能力を身につけている。	20%
	【興味・関心・態度】	自然科学、地域課題、及び知能・メディア情報工学等の動向や進展に関心を持ち、主体的に学ぶための基礎的な能力を身につけている。	30%
	【興味・関心・態度】	社会における知能・メディア情報システムの役割を理解し、技術者として社会に貢献する基礎的な能力を身につけている。	30%
	理工学部 システム創成工学科 機械科学コース		
	【知識・理解】	一般的な教養を身につけ、工学に関する幅広く基礎的な知識と、機械科学に関する専門的な知識及び技能を修得している。	10%
	【思考・判断】	幅広く深い教養と総合的な判断力を身につけ、社会における科学技術者の在り方や社会への貢献について考察できる。	10%
	【技能・表現】	機械科学分野の機器およびコンピュータを活用し、所望の機能を実現する基礎的な能力を身につけている。	10%
	【技能・表現】	日本語と英語による論理的な表現力とコミュニケーション能力を身につけている。	10%
	【関心・意欲】	機械科学の進展に関心を持ち、専門的知識を応用しながら主体的に学習することができる。	50%
	【態度】	社会における機械科学の役割を理解し、環境や安全に対する倫理観を身につけている。	10%
	理工学部 システム創成工学科 社会基盤・環境コース		
	【知識・理解】	社会基盤・環境工学の建設、環境、防災の各専門技術に関する知識とその知識を応用する能力を身につけている。	10%
	【思考・判断】	問題の本質を理解し、必要な情報を収集・分析して解決法を考える能力、および問題解決のための具体的なデザイン・計画を立て、遂行する能力を身につけている（デザイン能力）。	10%
	【思考・判断】	自ら課題を発見・解決する能力および主体的・持続的に学習を行う能力を身につけている（課題発見能力、継続学習能力）。	10%
	【関心・意欲・態度】	科学技術が社会や自然におよぼす影響を理解して、技術者としての社会的使命・責任を認識する能力を身につけている（倫理）。	10%
	【関心・意欲・態度】	自分の意見や実験研究の内容・成果を論理的・客観的に表現する文章作成能力とプレゼンテーション能力を身につけている。	30%
	【関心・意欲・態度】	他者と協力してチームで仕事をすることができる能力を身につけている（チームワーク力）。	30%
授業の目的	社会の様々な事業所等でインターンシップなどの現場体験を積むことによって新たな学習意欲を喚起し、自主的に考え行動できる力を養う。また、社会体験を通して自己の職業適性や将来設計について考える機会を得ることにより、高い職業意識の育成を計る。		
到達目標	実習を通じて、自主性・独創性・実社会での適応力を身につける。 現場や実社会を体験することで、自己の職業意識と向き合い進路についての考えを深める。		
授業の概要	インターンシップ事業の受講フロー ・5月上旬：ガイダンス（資料配布型）、実習先の検討開始 ・5月下旬：受講申込み、実習先の決定および事前打ち合わせ開始 ・6月下旬～7月：学生支援課キャリア支援グループ主催 インターンシップ準備ガイダンス ・8月上旬～9月下旬：夏季インターンシップの実施 ・10月～11月：夏季インターンシップ事後指導 ・後期授業終了後、随時：冬季インターンシップの実施、事後指導		
実務経験の有無と授業内容への反映			
授業の形式	受け入れ先の方針による。 遠隔授業への該当（全授業回の半数を超えてオンライン授業を実施する場合） 【しない】		
授業外学修（予習・復習・課題等）への指示	本授業は教室外（学外）の学習が主となる。		
詳細計画（各回または週の具体的な授業内容、目標など）			
回／週	授業内容	授業外学修（予習・復習・課題等）への指示	備考
1			
2			
3			
4			
5			

6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
成績評価の方法と基準	評価方法	割合	評価観点 関心・意欲 知識・理解 技能・表現 思考・判断
	日報評価	20%	
	レポート	40%	
	事業所評価	40%	
	特別加点・減点	0~5%	
	事前指導・事後指導（必須条件）	0%	
評価の基準			
単位の認定は、ガイダンス、事後指導への出席を必須とし、事業所からの報告、実習日報及びレポートにより総合判定する。			
履修における留意点	現時点（令和6年度後期成績評価後）で取得単位が70単位以下の学生は履修不可である。 途中放棄・無断欠席・遅刻は事業所、関係機関に多大な迷惑がかかり、次年度以降の実習に支障を来すので厳禁である。 社会人としてのマナー違反でもある。 実習時間数5日間（40時間）以上10日間（80時間）未満で1単位、10日間（80時間）以上で2単位を認定する。 理工学部で開拓してきた事業所以外にも、学生が自己開拓してきた事業所（但し、理工学部インターンシップカリキュラム基準に合致している場合のみ）などでも実習可能である。 実習先カリキュラムに現場実習がある場合は、少しの気の緩みが怪我等を招く危険な場所での作業もあることから、事前指導により各自の注意力を高めることが必要となる。		
教科書 / 教材	2024インターンシップ等就業体験実施報告書		
参考文献			